

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	環境学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	高橋 綾	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>患者が心身ともに健やかで、治療や回復に前向きでいられるための環境づくりは、看護実践の基本とされています。この授業では、看護における環境づくり(環境調整)の重要性について理解し、実際に治療や療養環境における環境調整のための様々な工夫や注意する点について学びます。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>学期末試験によって評価します。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>教科書「ベッドまわりの環境学」(川口孝泰、医学書院)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>指定した教科書を事前に読んでおくこと。課題が出された場合にはそれを次回までに行うこと。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>患者さんによってよい療養環境をととのえることは看護の基礎です。普段は目に止めない身近な環境を観察する目を養い、病院病室での環境調整について必要な知識を学びましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	看護と環境、環境学の関わりを理解する				
	各コマにおける授業予定	イントロダクション、看護と環境、環境学の関わりについて講義する				
第2回	授業を通じての到達目標	外部環境の区分を理解し、それに基づいて環境の要素を分類できる				
	各コマにおける授業予定	外部環境がさらにいくつかの区分に分けられることを学ぶ、その区分に沿って、身近な環境のなかの要素を分類を試みる				
第3回	授業を通じての到達目標	外部環境の区分を理解し、それに基づいて環境の要素を分類できる				
	各コマにおける授業予定	外部環境の区分の理解を定着させる、分類が難しいものや、外部環境には含まれないが、環境を感じるために重要な要素についても理解を深める				
第4回	授業を通じての到達目標	療養環境(病院の環境)について要素を分析し、分類できる				
	各コマにおける授業予定	療養環境(病院の環境)において、患者の「居心地の悪さ」となりうる要素を抽出し、すでに学習した区分に基づいて分類する				
第5回	授業を通じての到達目標	病院の物理化学的、生物学的環境の改善について必要なことを理解し、実行につなげる				
	各コマにおける授業予定	第四回で学習したことに基づき、療養環境の中でも、物理化学的環境と、生物学的環境の改善、調整について学ぶ				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	患者にとって安全な人工物の調整、患者の自立を支える道具について理解し、実際の調整や活用につなげる		
	各コマにおける授業予定	第四回で学習したことに基づき、療養環境の中でも、人工物(道具、自助具など)がつくる環境とその改善、調整について学ぶ		
第7回	授業を通じての到達目標	患者にとって対人環境が持っている意味について知り、実際の改善や調整につなげる		
	各コマにおける授業予定	第四回で学習したことに基づき、療養環境の中でも、対人環境とその改善、調整について学ぶ。とくに身体的コミュニケーションの重要性について学ぶ		
第8回	授業を通じての到達目標	まとめ		
	各コマにおける授業予定	これまでの内容のまとめと、学期末の試験を実施する		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			